

社会的活動報告

福井新聞社主催「ふくまむ祭」への参画

幼児教育学科 木下ゼミ

新谷日葉・福岡鈴・宮本桃衣・山口紗輝・山本遥香・渡菜々子・
橋本椎奈・淡嶋真衣・清水麗葉・高見優衣・山内優奈

- ◆日時 2022年10月2日(日) 10:00～15:00
- ◆場所 福井新聞社1階
- ◆内容 仁愛短大ブース「お姉さんたちと遊ぼう!」
ステージイベント「仁愛女子短期大学生による
ハンドベルと手話ソング」

私たち木下ゼミは音楽活動を中心に実践を行っており、今回「ふくまむ祭」という親子向けイベントが行われるということで、11名のゼミ生全員で参加することになりました。

会場の福井新聞社1階には多くのブースが設けられ、その一画で私たちは誰でも自由に参加できる“お絵かきコーナー”を企画しました。内容は、私たちが予め花型に切った様々な色の画用紙に、子どもたちに自由に絵を描いてもらい、大きな山のイラストを印刷した壁紙に貼る、という体験コーナーです。当日は、未就学児親子が約450組来場し、予想以上に賑わっていました。子ども達一人一人が思い思いに絵を描く姿が見られ、何枚も描いてくれた子や楽しそうに自分の描いた絵を説明してくれた子、絵を山に貼って個性あふれる素敵な花さき山の完成を喜んでくれた子など、たくさんの子どもの姿を見ることができました。また、子どもたちだけでなく、保護者の方々も子どもと一緒に楽しそうに絵を描き、笑顔で子どもの姿を写真で撮る様子を見ることができました。これまで



コロナ禍であまり人と関われなかった中、久々に多くの人と関わることができ、とても楽しかったです。

ブース以外に、風の森ホールで30分間のステージ発表をすることもできました。私たちはブースで作った花をもとに、絵本『花さき山』を読み、思いやりの心の大切さを訴えました。手話ソング「花さき山」「にじ」では、歌詞の一つ一つを手話をしながら説明するということがしっかり伝わるか不安でしたが、みなさん真剣に聞いてくださり、動きを真似しながら一緒に楽しく手話ソングをすることができました。その後ハンドベル「ドレミのうた」「星に願いを」の演奏では、練習時間があまりありませんでしたが上手く演奏することができ、拍手が聞こえた時は大変嬉しかったです。盛り沢山な一日となりましたが、今回のような人前に出る機会があったことで、改めて人と関わる楽しさや達成感を実感することができました。ゼミの友達や木下先生と協力し、参加して良かったです。これらの経験を活かし、今後も地域の活動や多くの人と関わる活動に参加していきたいです。(代表：渡菜々子)

